

## ～ 今治商店街にぎわいパワーアップ事業 ～

タオルで有名な今治市の中心市街地を構成する商店街で、地元特産品の当たる抽選会や空くじなしの宝くじを実施。さらに、「土曜夜市」と「商人まつり」が相乗効果をもたらし、幅広い世代を街なかに呼び込む起爆剤となって商店街の賑いにつながった。

所在地：愛媛県今治市常盤町3-4-17  
 TEL・FAX：0898-32-0122  
 URL：<http://okamisan.main.jp/>  
 組合員数：124名  
 商店街の類型：広域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

造船や高品質な今治タオルの生産地で有名な今治市の中心市街地に立地。JR今治駅から今治港にかけて全長1.2kmに及ぶアーケードを有する商店街の連合組織で、傘下には、どんどび商店街や常磐町銀座商店街、港町商店街など8つの商店街で構成されている。日用品、食料品、洋品店等の様々な業種が軒を連ね、地域住民の生活インフラを支える重要な役割を担っている。一方、商店街の核となっていた百貨店が撤退したことに加え、市近郊への複合商業施設の進出、本州四国連絡道路（通称しまなみ海道）の開通による今治港への船便が減少した影響等により地域住民の足が遠ざかり、若年層やファミリー層の来街者が減少している。そこで、地域に根ざした多彩な新企画事業を継続的に実施し、商店街の魅力を発信して若年層やファミリー層を中心とした幅広い世代の来街回帰を狙った。

## 実施した事業の概要

### ①スプリングセール抽選会（街中ワクワクセール）の開催

商店街の新企画として、街区内にある多目的施設「まちなか広場ほんからどん」を会場にしてガラポン抽選会を開催。個店での買物レシート合計5,000円毎に1回の抽選を行い、当選者には1等5,000円相当から5等150円まで、商店街で製造・販売されている食品など地元特産品、計633品の景品を用意した。平成26年4月26日から開催し、1ヶ月間を見込んでいたが、お客様の反響が大きく大変好評であったことから1週間程度で景品の配布が完了となった。

### ②ほんからどんどん宝くじ（10周年企画）の実施

平成26年5月～9月までの計5回の宝くじ抽選会を開催。期間中、会員店舗で買い物されたお客様に宝くじ券を配布し、当選者は商店街で利用できる商品券と交換した。平成15年から継続的に実施している抽選会が10周年を迎えたことを契機に内容を見直し、景品に特別賞を新設。地元特産品の蒲鉾や今治タオルを月に25本用意したところ、景品交換率が65%から80%へ上昇。買い物客に大変好評で、商店街の集客につながった。

### ③土曜夜市の開催

幅広い世代の人々の来街を促す目的で、6月28日～7月26日まで土曜夜市を開催。お化け屋敷、射的場等を催したほか、地元ミュージシャンによる演奏とダンスを披露するストリートイベントを実施した。また、広報活動としてはチラシを4万部を作成し、新聞折込や地域の小中高校を通じて配布。5日間で延べ57,000名の若年層を中心とした来街者があり大盛況であった。

### ④商人まつりの開催

若年層やファミリー層を商店街に呼び戻すため、商店街のアーケードを会場に10月11日、12日に開催。地域の小中高校13校が参加した吹奏楽部の演奏や32団体約600名が参加した今治よさこい踊り等を披露した。地元で活動が盛んなよさこい踊りについては、アーケード内の4会場に音響機材を搭載した地方車（じかたしゃ）5台を使用。華やかな衣装を身にまとった踊り子たちがダイナミックな演舞を披露し観客を沸かせた。2日間で約30,000名の集客となり大変賑った。



## 成果と成功の要因

宝くじや抽選会については、今治を愛する住民ニーズに対応した景品に変更したことで、商店街利用の促進につながった。また、多彩な企画を盛り込んだ「土曜夜市」や「商人まつり」の開催は、足が遠のいていた若年層やファミリー層に対する来街動機につながるとともに、商店街認知度の向上に大きく貢献した。今回の事業において、商店街の青年部が主体となって機動的に企画・運営し、商店街のおかみさんが青年部を極め細やかに補佐したことが成功の要因と考えている。

## 今後の取り組み

今回の事業の成功を踏まえ、青年部やおかみさん会を中心に地域の若者の参画も視野に入れたイベント事業の継続に取り組むこととしている。特に、一過性ではなく持続して人々を呼び込むため、商店街の魅力となる新規性の要素を盛り込んだイベントを目指していく。